

Funehiki High School News vol.82

◆生徒総会・家庭クラブ総会、選手壮行会が行われました

5月2日、本校体育館で生徒総会が行われました。本年度の生徒会活動や部活動の年間計画と予算案について審議が行われ、全ての議案が無事承認されました。その後、家庭クラブ総会が行われ、家庭クラブの活動報告や役員紹介などが行われました。生徒総会、家庭クラブ総会ともに、報告を真剣に聞く生徒の姿が印象的でした。

家庭クラブ総会終了後、インターハイ地区予選に出場する部活動の選手壮行会が行われました。吹奏楽部による演奏の中、それぞれの部活動の代表選手がユニフォーム姿で体育館に入場し、壇上で大会に向けての決意を述べました。生徒会長が代表して激励の言葉を述べ、これを受けてバドミントン部主将の鈴木健太さんが「日頃の練習の成果を十二分に発揮してきます」とあいさつしました。



生徒総会で議長を務める3人



生徒会長から激励の言葉を受ける選手



選手を激励する吹奏楽部の演奏



生徒の間を通り入場する選手たち



◆第8回田村市長杯市民卓球大会で入賞しました

5月4日に田村市主催の卓球大会が行われました。一般女子の部で本校3年3組の松崎友紀さんが見事優勝、1年2組の渡邊真由さんが3位を獲得しました。

※写真右側から松崎友紀さん(3-3)、渡邊真由さん(1-2)

◆学習習慣確立のためのガイダンスが行われました



講師の話を真剣に聴く生徒たち

5月1日、1年生を対象に、基礎学力の重要性と学習習慣の確立についてベネッセコーポレーションの講師の方をお迎えし、講話をいただきました。5月半ばには、高校生活で初めての定期考査が実施されます。そこで、3年後の進路実現に向けてより良いスタートが切れるよう、生活時間の管理、学習習慣の確立を徹底するのが目的です。生徒たちはテストの診断結果を見ながら講師の話を真剣に聞き入っていました。右記は講話を聞いた生徒の感想の一部です。

- ビジネスクラス** 市川裕貴さん(1-2)
今回のガイダンスで就職するための条件を学びました。僕の結果はC3まで届いてないので、しっかり勉強していきたいです。「予習→授業→復習」のサイクルを忘れずに学校生活を送っていきたくです。
- 特別進学クラス** 高橋由史さん(1-4)
今、学校でやっている授業の内容がセンター試験に出てくるので、予習と復習の大切さが分かりました。今回、話していただいたことを基に、これから頑張っていきたいと思いました。



貴重な伝統文化

Masako Kawate
マサコ・カワテさん
(アメリカ合衆国
ペンシルベニア州出身)

海	を	越	え	て
英	語			
	指	導	助	手
ペ	ン	リ	レ	ー
			No.	12

私は昨年夏から日本に住み、今この国を自分のホームと呼ぶことにとても幸せを感じています。日本の四季を経験し、美しい日本語を勉強するとともに、私が住んで働く「田村」という地域社会の共同体を形成する市民の方と触れ合い、皆さんが大切にしている伝統を学ぶことに興奮を覚えています。日本は私の父が生まれ育った国で、私の両親が出会った国。そして私の父方の祖父母がずっと暮らしてきた国なので、私の中には成長とともに日本という国の貴重な独自性が織り糸のように綴り込まれています。

私は、夫婦として共に生活を築いていくことを決めた日本人の父とアメリカ人の母の4番目の子どもとして、アメリカのペンシルベニア州で生まれ育ちました。両親は、私たち兄弟がアメリカと日本の両方の伝統に触れられる環境にしようと、わが家の多様性を重んじました。

私はアメリカの学校で教育を受け、ネイティブ(第一)の言語は英語です。しかし、私の名前は完全に日本の名前です。周りの誰もきちんと発音できませんでした。小さい時からフォークとスプーンを使い、お箸も使っていました。両親は庭に大きな桜の木を3本植え、毎年お花見を楽しみました。母の地元のペンシルベニアの食べ物に加え、わが家では、おみそ汁やご飯、いろいろな和食を食べました。母は地元の食料品店では買えないシソをわが家の庭で栽培していました。子供のころは東京の祖父母から贈られたおひなさまを飾り、毎年二人の姉と共にひな祭りを祝って、特別なお菓子を食べてました。日本を祝うお祭りがあれば、多少遠くても家族で出かけては焼きそばを食べたり、金魚すくいを楽しんだりしました。私は大学で松尾芭蕉の俳句や作品を学び、趣味として何年間も生け花を楽しんでいました。



このように私は生まれた時から日本の習慣に触れてきましたが、今回日本に住むことで、この美しい国を新たに、そして深く理解することができるようになりました。「大和魂」という日本精神の本質と強さ、四季を楽しむ態度、伝統を重んじること、そして日本人独特のもてなしの心など、その一つ一つに触れることは、私にとって本当に豊かな経験になりました。日本を直接、経験することで、私は、私の父や祖父母、祖先、そして結果として私自身を真に理解できるようになってきました。

アメリカと日本では多くの違いがあり、いまだに戸惑うことがあります。しかし、私と私の同僚にもたらしてくれるこの国の感動には、本当に圧倒されています。毎日、素晴らしい子どもたちに英語を教えられること、田村市での生活を通じて日本の伝統をたくさん学ぶことをとても光栄に思っています。そして、皆さんの愛情あふれるおもてなしに心から感謝しています。